

スポーツ高岡

たかおかスポーツDAY



6月23日(日)、竹平記念体育館で「たかおかスポーツDAY」を開催しました。大雨の天気予報で心配しましたが、アスリッシュ陸上スクール西村顕志氏によるランニング教室では50人余りの小学生が走り方の基本を学び、体力テスト会やスポーツ体験にもジュニアからシニアまでたくさんの市民が参加し、モルックやペタンク（室内）などを楽しみました。

「体力が落ちていた」と運動不足を自覚される中年男性や「体力、お肌年齢が若かった」と安堵される90歳の女性などの声が聞かれ、自分の体力を知る機会にもなりました。

第19回高岡市民スポーツ大会

「高岡市民体育大会」は今年度から「高岡市民スポーツ大会」に名称を変更し、41競技にわたって11月まで開催中です。5～6月に開催された中学の部では、「スポーツ」の輪がさらに広がるようなのびのびとしたプレーが展開されました。



高岡市スポーツ協会看板上掲式

令和6年4月1日、高岡市体育協会は、「高岡市スポーツ協会」に名称を変更し、新たにスタートいたしました。

東洋通信スポーツセンター（高岡市民体育館）で、喜多進会長・西本幸夫専務理事が代表して事務局入口に新しい看板を掲げ、スポーツ振興を通じて市民の心身の健全な発達に、より一層努めていくと力強く宣言いたしました。



土曜っ子スポーツチャレンジ



土曜っ子スポーツチャレンジ春期を4月から7月にかけて全6回を城光寺陸上競技場で開催しました。82名の市内小学1～3年生が参加し、『走・跳・投運動、サッカー、ラグビー』を楽しみました。

今年度はトップアスリートとの交流として、『アスリッシュ陸上スクールの西村顕志氏』に『走』を中心に指導いただきました。指導者VS子どもたちの競走は、とても盛り上がりしました。

秋期は会場をふくおか総合文化センター（Uホール）と県営高岡武道館に移し、『バレーボールやフレッシュテニス、卓球、柔道』を内容とした活動を予定しています。

トップアスリートとの交流は、アランマーレハンドボールチームの選手をお招きし、巧みな体の使い方をご指導いただく予定です。

第70回前田杯ソフトテニス大会・バレーボール大会（中学の部）

4月29日（月・祝）に第70回前田杯ソフトテニス大会・バレーボール大会（中学の部）を開催しました。今年は第70回を記念して参加者に記念タオルが贈呈されました。スポーツを通して金沢市との交流を深めるとともに、お互いに競技力やチームワークを高め合ういい機会になりました。



公益財団法人 高岡市スポーツ協会 令和6年度 定時評議員会

5月25日（土）ホテルニューオータニ高岡で定時評議員会を開催しました。

令和5年度事業報告、令和6年度事業計画及び収支予算の件の報告の後、第1号議案は令和5年度決算、第2号議案は評議員の改選等に伴う46名の評議員（新任15名）の選任、第3号議案は役員の改選に伴う理事28名（新任：森田芳栄氏、棚田健介氏、井山嗣夫氏）、監事3名（新任：長田裕氏）の選任、第4号議案は規程・規則の一部改正について審議され、すべての議案について承認されました。

また同会場で、スポーツ協会表彰式も行われ、以下の1団体・27個人が受表彰されました。



令和6年度 公益財団法人 高岡市スポーツ協会表彰

表彰状受賞者（一般）

トナミ運輸株式会社バドミントン部		
	（バドミントン協会）	全国大会優勝
小林 優吾	（バドミントン協会）	国際大会優勝
保木 卓朗	（バドミントン協会）	国際大会優勝
常山 幹太	（バドミントン協会）	国際大会3位
大堀 彩	（バドミントン協会）	国際大会3位
大林 拓真	（バドミントン協会）	国際大会優勝

金子 真大	（バドミントン協会）	全国大会優勝
西田 陽耶	（バドミントン協会）	国際大会優勝
高橋 洸士	（バドミントン協会）	国際大会2位
秦野 陸	（バドミントン協会）	国際大会3位
目崎駿太郎	（バドミントン協会）	国際大会優勝
大田 隼也	（バドミントン協会）	全国大会優勝
坂本 光雄	（バドミントン協会）	全国大会優勝
今泉 静子	（バドミントン協会）	全国大会優勝
神代 和久	（バドミントン協会）	全国大会優勝
末坂 進	（バドミントン協会）	全国大会優勝
原 宗利	（バドミントン協会）	全国大会優勝
横田 誠二	（相撲連盟）	多年役員

黒川宗一郎	（相撲連盟）	全国大会2位
柴田 利治	（弓道連盟）	多年役員
見津 栄吉	（フェンシング協会）	多年役員
目代 興一	（グラウンド・ゴルフ協会）	全国大会優勝

感謝状受賞者（一般）

水戸 英之	（陸上競技協会）	多年役員
井波 利一	（ソフトボール協会）	多年役員
山本栄佐男	（ソフトボール協会）	多年役員
伊藤 宏継	（ソフトテニス連盟）	多年役員
熊木 英夫	（バレーボール協会）	多年役員
松浦 朗夫	（サッカー協会）	多年役員

第33回オリンピック競技大会 (2024年/パリ) 特集

PARIS 2024

7月26日(金)、パリ2024オリンピックの開会式が歴史上初のスタジアムの外で行われ、選手団を乗せたボートがパリ中心部のセヌ川をパレードし、式典会場のトロカデロ広場で約30万人の観客が見守る中、オリンピックの開会が宣言されました。各競技は7月26日から8月11日まで17日間で開催され、32競技329種目で熱戦が繰り広げられました。

日本選手団は、連日のメダルラッシュで東京オリンピックに次ぐ海外大会過去最高の金20個を含む計45個(銀

12個、銅13個)を獲得、各競技会場では大勢の観客が大声援を送り、白熱した試合の中で勝敗だけでなく、多くの感動が生まれました。

高岡市からはバドミントン競技に厳しい出場資格を突破した3選手(男子ダブルス:保木選手・小林選手、女子シングルス:大堀選手)が初代表として、7月27日から始まった1次リーグに出場し、保木・小林ペアは1勝3敗で惜しくも1次リーグ敗退。大堀選手は予選リーグを突破、準々決勝で敗退しベスト8となりました。

結果 詳細

○保木・小林選手 1次リーグD組で初戦の東京五輪金メダルの台湾ペアに敗れたが、次の米国戦で初勝利を挙げた。その後中国ペア・デンマークペアに惜しくも敗れ1勝3敗で1次リーグ敗退となった。

○大堀選手 1次リーグを連勝で突破、決勝トーナメント1回戦でシンガポール代表のYEOと対戦し、逆転で大接戦を制した。準々決勝では格上のスペイン代表のMARINに敗れたが、初出場ですべて8となった。



保木 卓朗 (ほき たくろう)

所 属: トナミ運輸(株)
年 齢: 29歳
身 長: 167cm
血液型: A
出身地: 山口県



小林 優吾 (こばやし ゆうご)

所 属: トナミ運輸(株)
年 齢: 29歳
身 長: 175cm
血液型: A
出身地: 宮城県

2021年のワールドツアーファイナルズ、世界選手権で日本勢として初優勝、世界ランキング1位の偉業を果たし、今年の3月の全英オープンで4強に入るなど、パリ選考大会で安定した結果を残し、ランキング日本勢トップの6位で初の代表を獲得



大堀 彩 (おおほり あや)

所 属: トナミ運輸(株)
年 齢: 27歳
身 長: 169cm
血液型: A
出身地: 福島県

昨年の杭州アジア大会で銅メダルを獲得、今年の2月の国際大会で優勝するなど、安定した力を発揮し、日本選手団の熾烈な代表争いの中、直接対決を制して勢いをつけ、ランキング日本勢2番手の11位で初の代表を獲得

バドミントン パリオリンピック出場資格取得プロセス

昨年の5月~4月までの1年間の国際選考大会の成績をポイント化した、世界バドミントン連盟(BWF)の「パリ・ランキングリスト」をもとに代表を決める。一つの国・地域が得られる出場枠の上限があり、男女それぞれ最大8枠、各種目の上限は最大2枠となっている。



小林 優吾 選手

- ①バドミントンは長いレースがあるので、決まった時はほっとしました。東京オリンピックは悔しい結果だったので嬉しかったです。
- ②1回戦から客席が満員で今までにないくらい盛り上がっていて緊張しました。グレードの高い試合は何度も経験していながら、全くの別物でした。
- ③絶対に経験してほしいので頑張してほしいです。夢はかなうとは限りませんが、自分で考えて、自分で努力し、自分で行動できる人の夢は必ずかなうと思います。



- ①質問1：オリンピック代表に選ばれた時の気持ち
- ②質問2：オリンピックを終えての心境、オリンピックの雰囲気や感想
- ③質問3：オリンピックを夢みる高岡の子どもたちへのメッセージ

保木 卓朗 選手

- ①東京オリンピックに出場できず、3年間パリに絶対に出場したいと思いながらやってきたので、とてもうれしい気持ちとホッとする気持ちでした。
- ②とても疲れました。オリンピックのコートに立って特別な雰囲気を感じることが出来ました。
- ③誰にでもチャンスはあると思います。一番大事なことはオリンピックに出たいと思い続けることだと思います。



大堀 彩 選手

- ①代表に決まった時は素直に嬉しい気持ちが一番大きかったですが、それと同時に不安な気持ちもありました。
- ②オリンピックは想像を遙かに上回る独特の雰囲気があり、人生の中で経験する事が出来て本当に良かったと思います。
- ③それぞれ苦しい事や辛い事がたくさんあると思いますが、オリンピックは本当に素敵な場所です。諦めなければ誰にでもチャンスがあると思いますので、夢に向かって全力で頑張ってください。

次の夏のオリンピックは、2028年ロサンゼルスオリンピック。日本人選手はもとより、高岡市関係者の活躍を期待します。

夢舞台「パリオリンピック2024」

トナミ運輸㈱バドミントン部 ヘッドコーチ 大堀 均

パリオリンピック出場を果たした、男子ダブルスのホキコバペアこと保木卓朗・小林優吾、そして女子シングルの大堀彩は、かつて高校教師をしていた私の教え子であり、現在はトナミ運輸で共に闘う同志でもあります。そんな三人が日本代表としての誇りを胸に、そして自らの可能性への挑戦を掲げ臨んだパリオリンピック。超満員となったスタジアムで大歓声に包まれる中、選手たちは死力を尽くして闘いました。おそらく今までに味わったことのない、極度の緊張感との闘いでもあったと思います。ホキコバペアは、予選リーグで1勝3敗となり残念ながら決勝トーナメント進出を逃しました。そして大堀彩は予選リーグを勝ち



抜き、決勝トーナメント1回戦ではファイナルゲームを制したものの、続く準々決勝で敗退しベスト8となりました。

三人は、幼少期からバドミントンを始め幾度となく訪れた試練を乗り越え、覚悟を決めて臨んだオリンピックレース。そして耐えに耐えようやく掴み取ったオリンピックへの切符でした。そんな夢の舞台で、家族やこれまでお世話になったみなさんへの感謝を胸に、必死にシャトルを追いかける三人の姿は、とても美しく、そして輝いて見えました。そんな選手たちを私は誇りに思います。

ご支援ならびにご声援をいただきました高岡市の皆さまに、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。





9月8日(日)「たがおかスポーツロゲイニング」がウイング・ウイング高岡発着で、ファミリーの部など6種別72チーム217名の参加で開催いたしました。



今回は、富山GRNサンダーバーズと富山ドリームスの選手とのスポーツ体験やマスコットキャラクターのライ



ティー君と写真を撮るなど、地元トップアスリートチームとの交流がとても盛り上がりしました。

制限時間3時間の中、知力・体力を使ってそれぞれのチームが思い思いに楽しんだようで、笑顔の写真がたくさん届きました。

新たな試み!「高岡市スポーツ交流大会」

昨年度まで行っていた校下・地区対抗の「市民スポーツ大会(8種目)」を改め、今年度からは、スポーツに取り組む機会を提供し、スポーツに対する関心を抱いてもらうことを目的に、子供から高齢者まで幅広く参加できる「市スポーツ交流大会(5種目)」を開催します。



9月にはチーム戦としてファミリーでも参加できるカローリング、モルック、ペタンク(室内)を開催。10月20日(日)は個人戦として小学生から参加できるグラウンド・ゴルフ、2月16日(日)はボウリングを行います。和気あいあいとスポーツ交流を楽しみましょう!

大会要項、申込みは市スポーツ協会HPをご覧ください。

第32回 高岡市ジュニアタスキリレー

令和6年11月23日(土・祝)

高岡市ジュニアタスキリレーが高岡西部運動公園内で開催されます。市内の小学3～6年生・1チーム4名で高岡No.1を決定します!

(種別:男子の部、女子の部1区間約900m)
参加申込は10月～詳細は高岡市スポーツ協会HPをご覧ください。



令和7年新春武道稽古始め

令和7年1月4日(土)

新年恒例行事である令和7年新春武道稽古始めが県営高岡武道館で開催されます。

5年振りに柔道、剣道、弓道、空手道、銃剣道、合気道の6種目の武道関係者が一堂に会して開会式を行い、模範演技や各種目の稽古始めを行いますので、武道関係者の多数のご参加をお待ちしております。



高岡空手道スポーツ少年団

委員長 島 久雄

空手部会には、高岡空手道・高岡中央ジュニア空手道・高岡スポーツユナイテッドの3つの団体があり、園児から中学生まで約50人が週2～5日の練習を行っています。



2024年度の富山県スポーツ少年団空手道交流大会では、「高岡空手道スポーツ少年団」が団体形で優勝しました。また、毎年小学生の全国大会や全中にも出場するなど、県内でも高いレベルを保っています。

ただし、空手道では、体を鍛えることはもちろんで

すが、礼儀を身につけること・心を鍛えることも同様に大切にしています。日々の練習で自分に勝つ。試合では勝って驕らず負けて腐らず。武道の精神を学びながら練習することは、人間的にも大きな成長に繋がるとしており、興味がある方はぜひ見学ください！



「伏木海陸運送野球部 第95回都市対抗野球大会出場」

7月24日(水)東京ドームで、優勝候補の一角の三菱重工East（横浜市）と対戦。惜しくも0－2で大会初勝利はならなかった。

角田市長が始球式を行い、スタンドには高岡市から応援団約3,000人が駆け付け声援を送った。

「第95回都市対抗野球大会を振り返って」

伏木海陸運送硬式野球部 主将 水野 克哉

平日のお昼時にも関わらず、たくさんの方が東京ドームへ応援に駆けつけてくださったこと、とても大きな声援を私たちに送ってくださったこと、元旦の大震災を思い出すとどうしても勝って恩返しがしたかったです。

今年は都市対抗で勝つという目標を年始に掲げスタートしましたが、1点も取れず初戦敗



退となりました。

全国で勝つためにはチームとしても個人としてもまだまだ足りない部分が多いと痛感しました。

秋の日本選手権予選まであまり時間はありませんが、この都市対抗での敗戦を活かして秋に全国の舞台でリベンジできるよう頑張ります。



賛助会員 入会のお願い

高岡市スポーツ協会は、スポーツ振興を通じて市民の心身の健全な発達に寄与することを目的とし、スポーツに関するさまざまな事業を行っています。

つきましては、この目的にぜひともご賛同いただき、賛助会員にご入会いただきますようお願いいたします。なお、賛助会員には団体でも個人でも入会できます。

詳しくは、事務局までお問い合わせください。

編集後記

「パリ2024 オリンピック」では、日本選手の素晴らしい活躍で合計45個のメダルを獲得しました。

その後開催されたパラリンピックでも連日のメダルラッシュで合計41個のメダルを獲得しました。

日本人アスリートの皆様の並々ならぬ努力の賜により、すべての競技において世界との差が無くなり、メダルを狙える状況に感動・感激しています。

さて、本年4月に当協会は「高岡市スポーツ協会」に名称変更しました。少子高齢化が急速に進む中においても、市民への健全なスポーツ振興事業に寄与してまいります。

また、ジュニアの育成にも尽力し、将来は本市出身のオリンピック選手の誕生にも貢献できればと思いますので、皆様方のご協力をお願いいたします。

広報委員 長濱 敏

